

三条市の都市計画について

市役所三条庁舎の建て替えは考えているか。
A 考えていない。

ベトナム訪問について

ベトナム訪問は4社連合ジョイントベンチャー中心とのことだが問題はなにか。
A 特に問題はないと考える。

藤家貴之議員の質問

新型コロナウイルス感染者等生活支援事業「ほっとデリバリー」の支援内容について

三条市と県とで同じような支援を行っているが、支援物資内容を再検討し、抗原検査キット等を支援物資に取り組み考えはあるか。
A 医療用検査キットを送ることは法的に問題が生じる可能性があり、食料品に限定して継続する。

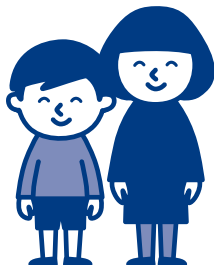


ほっとデリバリーによる支援物資の一例

しただの郷学園について

令和6年度から修学旅行、自然体験学習を5・6年生合同ですることとなった経緯を伺う。
A 今年度5・6年生の複式学級が1校あり、学級担任、学校全体に大きな負担となった。令和5年度には複式学級が2校に増える見込みであることや今後も複式学級の状況が継続していくことを踏まえ、5・6年生合同で実施することとした。

令和9年度には5校中4校で複式学級になるとのデータが出ている。複式学級解消に向け、統廃合についての議論が必要と考えるが、市としてどのような見解・方向性なのか。
A 現時点で統廃合についての具体の計画はないが、適正規模の集団学習の在り方の検討は必要である。行政側の一方的な意向の押し付け等ではなく、保護者や地域の方々との意見交換を重ねながら、皆様の考えを尊重して今後の在り方を検討していくことが大事である。



市民福祉常任委員会 森山昭委員長 原油価格・物価高騰に対する支援で補正予算計上

11号 議第
三条市総合運動公園の指定管理者の指定について
指定の期間は5年だが、指定管理料は来年の電気料金の上昇を考慮しているか。
A 要項ではこれまでの5年間の光熱水費を基に算出しており、昨今の上昇は加味していない。必要に応じて補正予算での対応になるものと考えている。

16号 議第
令和4年度三条市一般会計補正予算
ほっとデリバリーは、県からも同じような支援物資が届くという声があるが、県の支援物資と内容を比較しているのか。市民のニーズに合わせて検証しているか。
A 宅配する食料は季節に合わせた内容に見直しているが、県の支援物資との比較も含め、今後の研究課題としたい。

19号 議第
令和4年度三条市一般会計補正予算
生活困窮世帯灯油購入費助成事



付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



CHECK! 常任委員会 審査レポート 詳しく議案を審査します!

6号 議第
三条市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
若年層に重点を置いた給料月額の設定とあるが、若年層の範囲と対象人数はどうか。
A 35歳前後までの職員で、対象者は300人程度である。

9号 議第
三条市消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部改正について
消防団員の定数を22%減らしても問題ないという根拠は何か。
A 管轄する人口や面積などの地域の実情、国で示す消防力の整備指針、過去の災害における最大活動人員の実績などから、必要な人員はおおむね1000人であると平成30年度に消防団幹部および自治会に示させていただき、その考えに基づき最適な人員配置を順次行ってきた。条例の改正により、現在の消防団員の実員数を減らすものではない。



付託された議案のうち、議第4号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

経済建設常任委員会 坂井良永委員長 国の交付金を活用し、物価高騰に苦しむ市内事業者等を支援

10号 議第
三条市下田地域交流拠点施設の指定管理者の指定について
もう少し市の意向を反映した経営方針による運営をしたほうがいいのではないかと。
A 株式会社下田郷開発とは月1回の定例報告会において業績や経営方針などについて密度高く話し合いをしている。行政の意向も酌んでもらいながら事業を遂行していただいている。

16号 議第
令和4年度三条市一般会計補正予算
原油価格・物価高騰対応畜産事業者支援金について、新聞報道によると、飼料価格高騰などの影響により、畜産農業の廃業が相次いでいる。対象事業者から何とかしてもらいたいというような要望はあったのか。
A 畜産への支援に関する声は実際に寄せられており、ヒアリングも行った上で支援を検討した。



付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

